

リクルート、生活者と事業者の“行動・考え方”を調査し、 社会構造の変化を明らかにする「よのなか調査」を開始

初回調査として全国1万人を対象に実施した「よのなか調査（生活者編）第1回」を発表

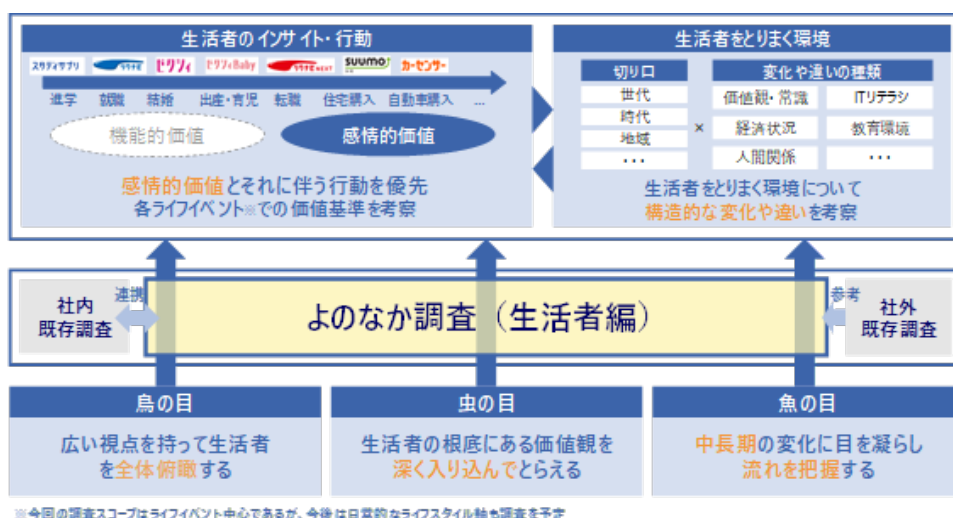
株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）は、リクルートの事業領域にとらわれず、生活者と事業者の“行動・考え方”を調査し、社会全体の構造的な変化を明らかにする「よのなか調査」を開始します。今回、初回調査として全国1万人の生活者を対象に「よのなか調査（生活者編）第1回」を実施しましたので、その結果を発表致します。

「よのなか調査（生活者編）」とは

リクルートは、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現を目指し、さまざまな事業領域におけるサービスを通じて「まだ、ここにいる、出会い。」を届けたいと考えています。各事業領域における生活者や事業者を取り巻く環境を深く知り、それらを踏まえたサービスの改善や提供価値の最大化を目指すため、これまで各事業領域に設けた専門調査機関で市場調査を実施し、さまざまな情報を発信してまいりました。

このたび、新たに開始する「よのなか調査」は、リクルートの事業とは直接関係しない領域も含めたより広い“よのなか”における生活者と事業者の“行動・考え方”を調査し、社会構造の変化を明らかにすることを目的とした、新しい試みです。「よのなか調査」は、「よのなか調査（生活者編）」や「よのなか調査（事業者編）」、「よのなか調査（従業員編）」のように調査対象を分けて実施予定です。

「よのなか調査（生活者編）」は、調査項目が“日常行動”、“生活様式”、“考え方”など多岐にわたります。その初回として実施した「よのなか調査（生活者編）第1回」から、今回は全体像を例示する調査データをご紹介します。今後は、テーマごとに分析した調査結果を複数回にわたって発表していく予定です。



本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

- ・調査目的：多様化する生活者の実態を理解する
- ・調査方法：インターネット調査
- ・調査委託先：株式会社マクロミル（マクロミル保有の調査モニターを対象に実査）
- ・集計方法：性年代・エリアのウェイトバック集計を行っている
- ・調査対象：全国の15～69歳の生活者10,277人
※2週連続で調査を実施し、両方に回答した人を対象としている
- ・調査期間：①2022年3月19日（土） ②2022年3月26日（土）の2回に分けて実施
※設問数が多く、回答者の負担を軽減するため
- ・調査項目：
 - 生活・アクション
 - ―直近1年間のアクション/情報収集/周囲の人との関わり方/日常の幸福度・満足度/物事の捉え方・考え方
 - パートナーとの出会い
 - ―出会いの実態/結婚に対する考え方
 - 家族との暮らし
 - ―親子関係・家族に対する考え方/家事・育児と仕事のバランス
 - 住まいと環境
 - ―住まいに対する考え方/住まい・環境に求めること
 - まなびとキャリア
 - ―まなびに対する考え方/ライフステージごとのまなび/キャリア教育/キャリア形成/働き方・就業に対する考え方

調査結果（詳細データはP4以降参照）

<行動の実態>

1. 1年以内に検討もしくは実施したアクションは、「国内旅行」が最も高かった。10代は「自分の教養のための学習・習い事」、20代は「転職」、30～50代は「長期的に利益を得るための金融投資」、60代は「車の入手」が「国内旅行」の次に高かった。
2. 1年以内に検討もしくは実施したアクションの完遂率は、「入籍・結婚」「賃貸の契約」「長期的金融投資」などが7割を超える一方、「起業」や「海外旅行」は約2割にとどまった。
3. 情報収集に使うメディアは、「いち早く世の中でできごとや動きを知る」「世の中の動きについて信頼できる情報を得る」「趣味・娯楽に関する情報を得る」のいずれの場合も「テレビ（地上波）」が最も高い。「趣味・娯楽に関する情報を得るメディア」では、10代と20代は「テレビ（地上波）」ではなく、「SNS」が最も高くなった。
4. 情報収集をするときにやるべきだと思っていることは「複数の情報を比較して、真偽を確かめること」、「情報の発信元が信頼できる人・メディアなのかを確認すること」、「集めた情報が古くないかを確認すること」の順に高かった。
5. 「よく交流している+ある程度交流している」の割合が高いのは「自分の親」「配偶者」「自分の兄弟姉妹」といった家族。家族以外では、「学生時代や幼少期の友人」が最も高い。
6. 交流することの最も多い「自分の親」について、男性×父親は10代を除き「厳格な親子関係」の割合が高く、女性×母親は「友達のような親子関係」が高い。また、若い年代ほど父母関わらず「友達のような親子関係」が高い傾向がある。

<考え方の実態>

7. 日常の中で「幸福度」を10点満点で評価した場合、平均は6.1点。10点は、10代では1割近くいるが、年を重ねるごとに割合が低くなる傾向。
8. 仕事の満足度を10点満点で評価した場合、平均は5.7点。年代別で見ると、60代が他の年代に比べて高いが、20～50代はほとんど変わらない。また、仕事の満足度は日常における幸福度と相関関係にある。
9. 物事の捉え方・考え方について、それぞれ近い方を選んでもらうと、「楽観志向」と「悲観志向」や、「技術重視」と「人重視」、「仲間重視」と「ひとり重視」で、それぞれ二分する結果となった。
10. LGBTQ+の人は、全体で1割を超える。中でも、10代と20代は約2割。
11. 出会い・恋愛・結婚に関する考え方について、最も高かったのは「結婚して子どもがいなくてもかまわないと思う」。また、「同棲・事実婚」「同性カップル」「外国人との結婚」など多様なパートナーを認める回答をした割合は、特に女性10代で高い。
12. 親子・夫婦・家族に関する考え方について、「家事は夫婦で協力して行うべきである」が最も高く、半数以上が選んだ。
13. 子育てに関する考え方について、「子どものしつけは親の責任であると思う」が最も高く6割に達した。
14. さまざまなデータをもとにした「おすすめ機能」について、「参考にしたい」「やや参考にしたい」と回答した割合は、「病院・クリニック」「旅行先」が約75%であるが、「交際相手・結婚相手」や「結婚式場」、「美容院・ネイルサロン」などは50%を切っている。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

■行動の実態

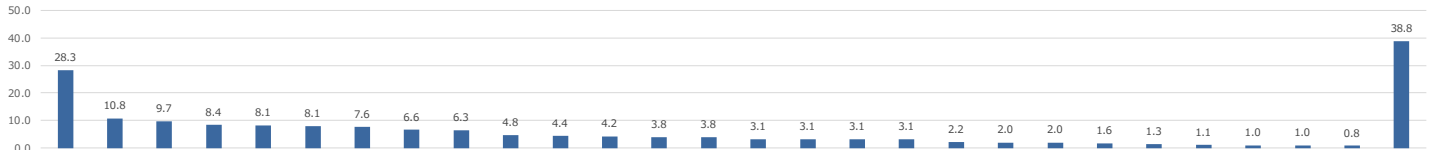
1. 1年以内に検討もしくは実施したアクション（年代別）

1年以内に検討もしくは実施したアクションは、「国内旅行」（28.3%）が最も高かった。

10代は「自分の教養のための学習・習い事」、20代は「転職」、30～50代は「長期的に利益を得るための金融投資」、60代は「車の入手」が「国内旅行」の次に高かった。

あなたが最近1年以内にやったこと、やろうとしたこと（今もやろうとしていることを含む）について、あてはまるものをお知らせください。（いくつでも）
※やろうとしたが未行動、やってみたが断念した、などの場合も含めてお答えください

（単位：%）



N数	国内旅行（宿泊をともなう）	長期的に利益を得るための金融投資（投資信託・積立など）	転職	車の入手	自分のキャリアアップ・仕事のための勉強（語学・会計など）	住み替え（転居・引っ越し）	短期的に利益を得るための金融投資（株・FXなど）	副業の開始	自分の教養のための学習・習い事（楽器・料理など）	生命保険の加入	住まいのリフォーム	賃貸の契約	子どもの教養のための学習・習い事（楽器・書道など）	妊活・出産	子どもの学校以外での勉強（学習塾・そろばん・英会話・通信教育など）	就職	住宅の購入	恋活・婚活	美容整形・歯列矯正・増毛など保険適用外の高額施術	入籍・結婚	親の還暦祝いなどのセレモニー	新卒での就職	海外旅行	不動産の売却（住み替えにともなう持ち家の売却を含む）	起業	不動産投資	資産の生前贈与	あてはまるものはない	
全体	10,277	28.3	10.8	9.7	8.4	8.1	8.1	7.6	6.6	6.3	4.8	4.4	4.2	3.8	3.8	3.1	3.1	3.1	3.1	2.2	2.0	2.0	1.6	1.3	1.1	1.0	1.0	0.8	38.8
10代	713	22.7	1.9	1.7	4.5	13.8	10.5	4.0	9.1	14.9	1.3	0.8	6.9	0.5	1.3	0.8	4.0	0.8	5.0	6.4	0.5	1.4	4.5	0.9	0.4	1.8	0.5	0.5	41.3
20代	1,518	29.9	10.2	17.7	6.6	11.2	14.9	5.1	9.9	6.5	6.0	0.8	10.3	1.6	10.1	1.0	6.8	4.1	8.4	4.9	7.1	2.1	8.3	1.2	0.6	1.6	1.1	0.6	26.4
30代	1,750	31.3	16.3	13.2	9.5	11.8	12.7	10.1	10.8	8.1	7.4	2.6	5.3	8.9	11.7	5.1	2.4	6.0	4.9	2.7	3.8	3.5	0.2	1.9	0.8	1.9	1.4	0.6	29.1
40代	2,276	26.1	12.8	10.4	8.8	9.0	6.6	10.7	6.3	5.9	4.0	4.0	2.8	7.7	1.1	7.0	2.8	3.1	1.6	1.1	1.0	1.7	0.1	1.3	0.8	0.7	1.1	0.6	40.0
50代	2,069	27.2	9.6	7.0	8.9	5.4	4.7	6.9	3.5	4.7	3.7	5.8	2.3	1.6	0.0	2.5	2.2	1.9	1.1	1.3	0.4	1.7	0.2	1.0	1.6	0.5	0.7	0.9	45.8
60代	1,950	29.9	8.5	5.4	9.1	2.4	3.0	7.8	3.0	3.7	4.8	9.0	0.9	0.2	0.0	0.1	1.8	1.7	0.4	0.5	0.0	1.4	0.0	1.5	1.9	0.4	0.9	1.4	47.4

複数回答・抜粋項目（回答数が少ないものを除外）

セグメント別の上位2位までを網掛け（以下同様）

N数はウェイトバック処理後の数値のため、内訳を足し合わせても合計と一致しない場合がある（以下同様）

2. 1年以内に検討もしくは実施したアクションの完遂率

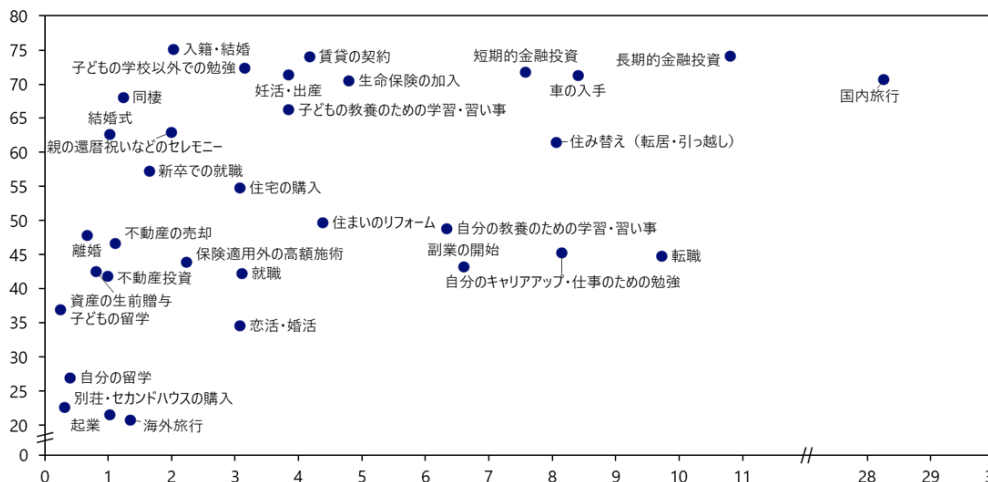
1年以内に検討もしくは実施したアクションの完遂率は、「入籍・結婚」「賃貸の契約」「長期的金融投資」などが7割を超える一方、「起業」や「海外旅行」は約2割にとどまった。

縦軸：あなたが最近1年以内にやったこと、やろうとしたこと（今もやろうとしていることを含む）について、現在の実行度合いをお知らせください。（それぞれひとつずつ）

横軸：あなたが最近1年以内にやったこと、やろうとしたこと（今もやろうとしていることを含む）について、あてはまるものをお知らせください。（いくつでも）※やろうとしたが未行動、やってみたが断念した、などの場合も含めてお答えください。

実施もしくは検討した人のうち
完遂した割合

（単位：%）



（横軸：N=10,277）

1年以内に検討もしくは実施した人の割合

3. 情報収集に使うメディア（目的別・年代別）

情報収集に使うメディアは、「いち早く世の中のできごとや動きを知る」「世の中の動きについて信頼できる情報を得る」「趣味・娯楽に関する情報を得る」のいずれの場合も「テレビ（地上波）」が最も高い。

「趣味・娯楽に関する情報を得るメディア」では、10代と20代は「テレビ（地上波）」ではなく、「SNS」が最も高くなった。

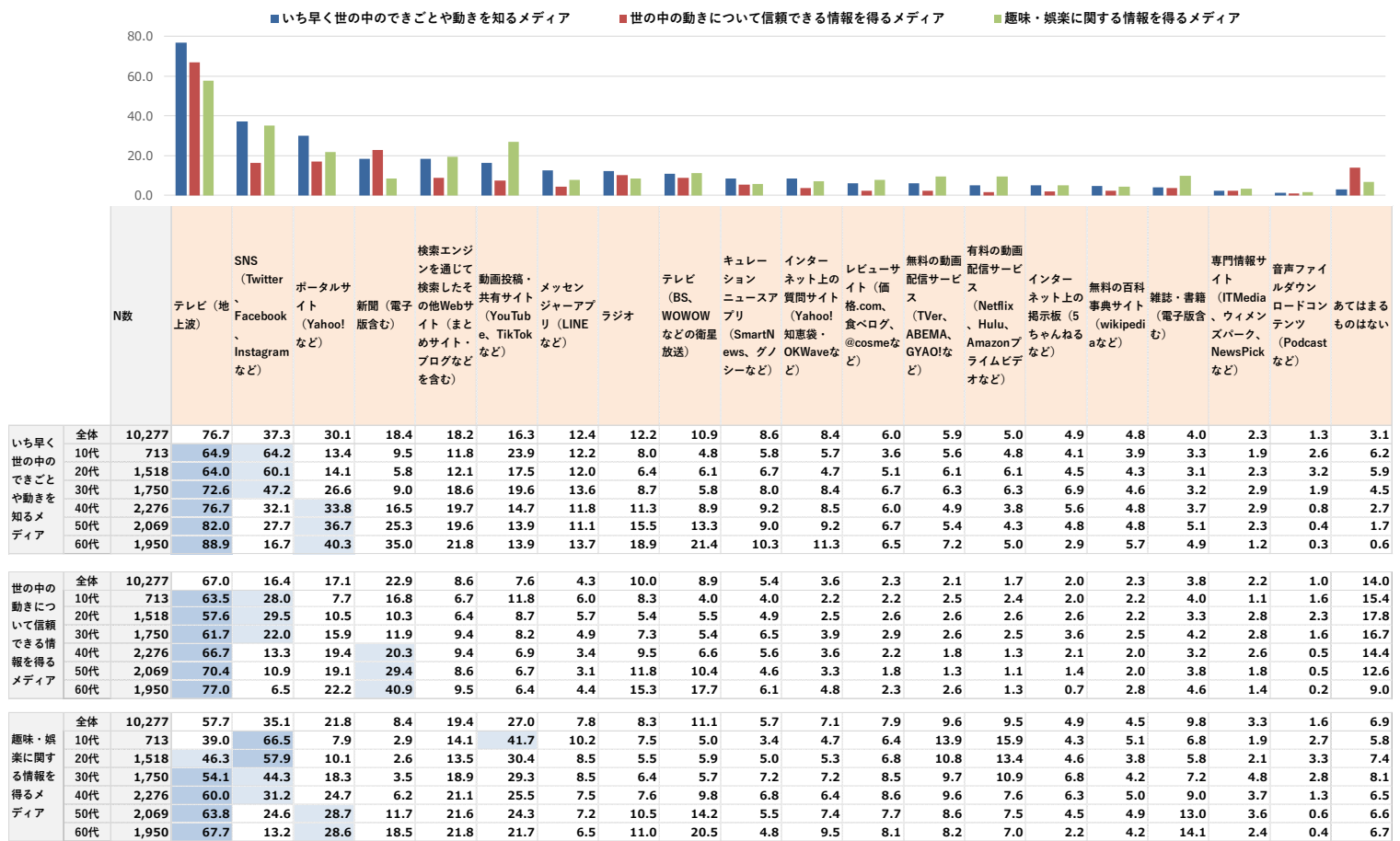
あなたが、以下の情報を集めるときによく使うメディアをすべてお知らせください。（それぞれいくつでも）

[いち早く世の中のできごとや動きを知るメディア]

[世の中の動きについて信頼できる情報を得るメディア]

[趣味・娯楽に関する情報を得るメディア]

(単位：%)



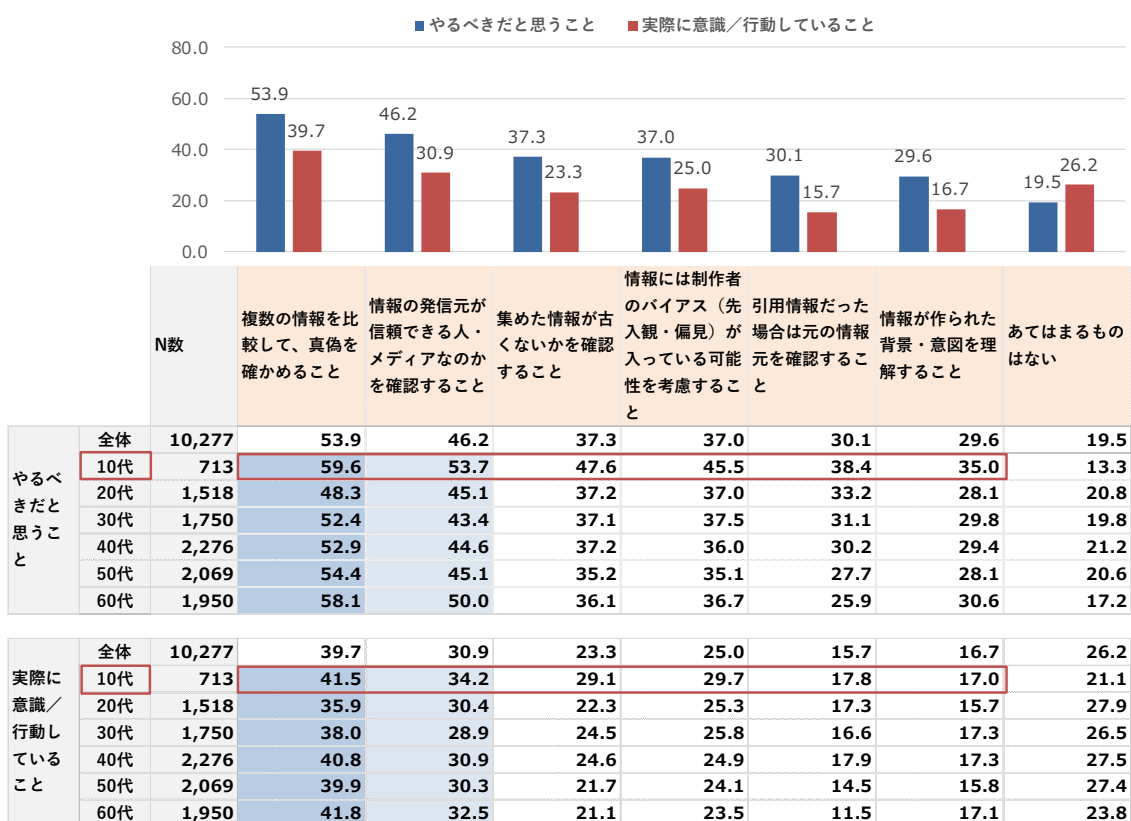
4. 情報収集における行動

情報収集をするときにやるべきだと思っていることは「複数の情報を比較して、真偽を確かめること」(53.9%)、「情報の発信元が信頼できる人・メディアなのかを確認すること」(46.2%)、「集めた情報が古くないかを確認すること」(37.3%)の順に高かった。

また、年代別では、「やるべきだと思うこと」と「実際に意識／行動していること」において、多くの項目で10代が最も高くなった。

あなたは、情報収集をするときに、以下のようなことをやるべきだと思いますか。
また、そのうち実際に意識／行動できているものはどれですか。(それぞれいくつでも)

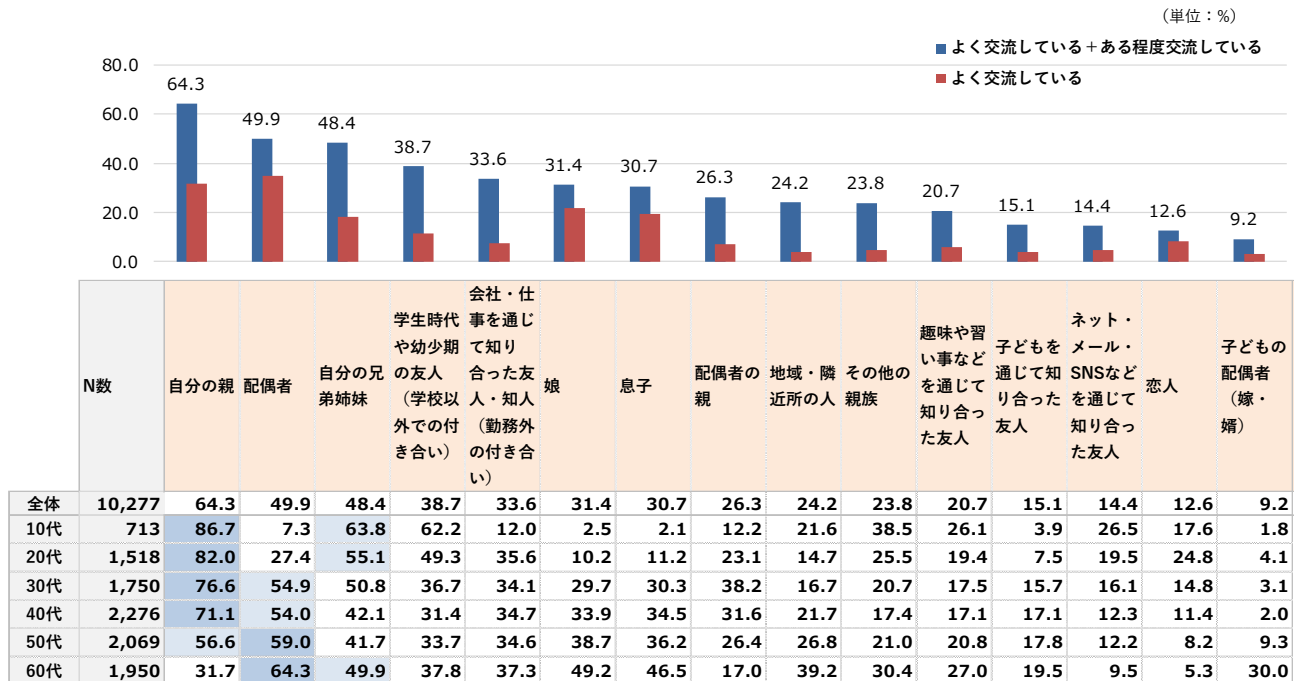
(単位：%)



5. 周囲の人との交流

「よく交流している+ある程度交流している」の割合が高いのは「自分の親」「配偶者」「自分の兄弟姉妹」といった家族。家族以外では、「学生時代や幼少期の友人」が最も高い。

あなたは次のような人々とよく交流していると思いますか。それぞれお知らせください。(それぞれひとつずつ)



6. 自分の親との関わり方

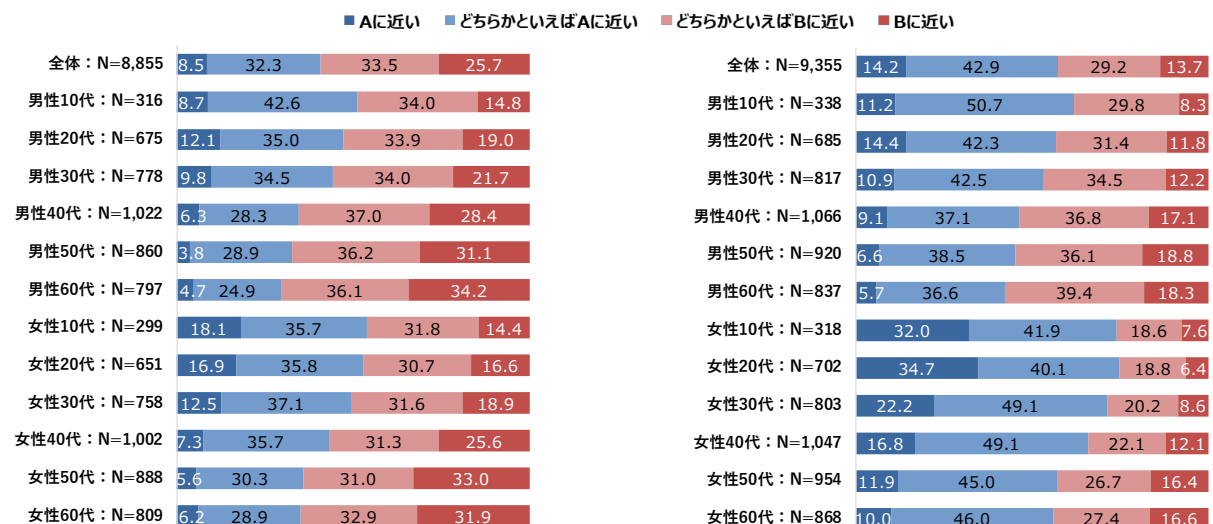
「よく交流している+ある程度交流している」の割合が最も高い「自分の親」について、男性×父親は10代を除き「厳格な親子関係」の割合が高く、女性×母親は「友達のような親子関係」が高い。また、若い年代ほど父母関わらず「友達のような親子関係」が高い傾向がある。

あなたのご家族とのかかわり方や家での過ごし方は、以下のAとBのうちどちらに近いですか。

(単位：%)

父親とのかかわり方
 [A] 友達のような親子関係
 [B] 厳格な親子関係

母親とのかかわり方
 [A] 友達のような親子関係
 [B] 厳格な親子関係



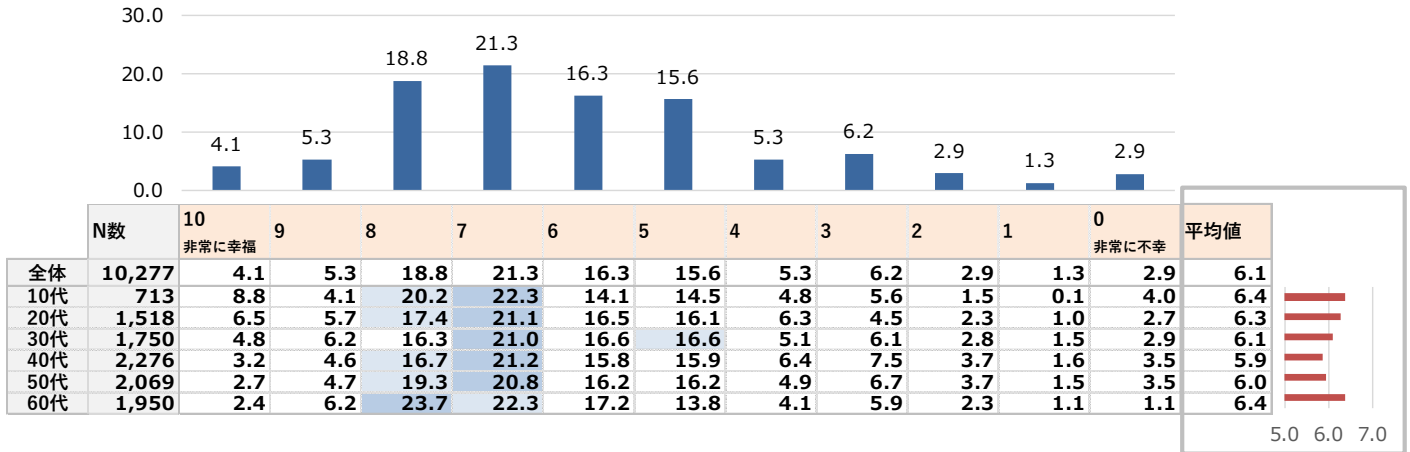
■考え方の実態

7. 日常における幸福度

日常の中で「幸福度」を10点満点で評価した場合、平均は6.1点。
10点は、10代では1割近くいるが、年を重ねるごとに割合が低くなる傾向。

あなたは普段どの程度幸福だと感じていますか。「非常に幸福」を10点、「非常に不幸」を0点として、あなたは何点ぐらいになると思いますか。
あてはまるものをお知らせください。

(単位：%) ※平均値は点数

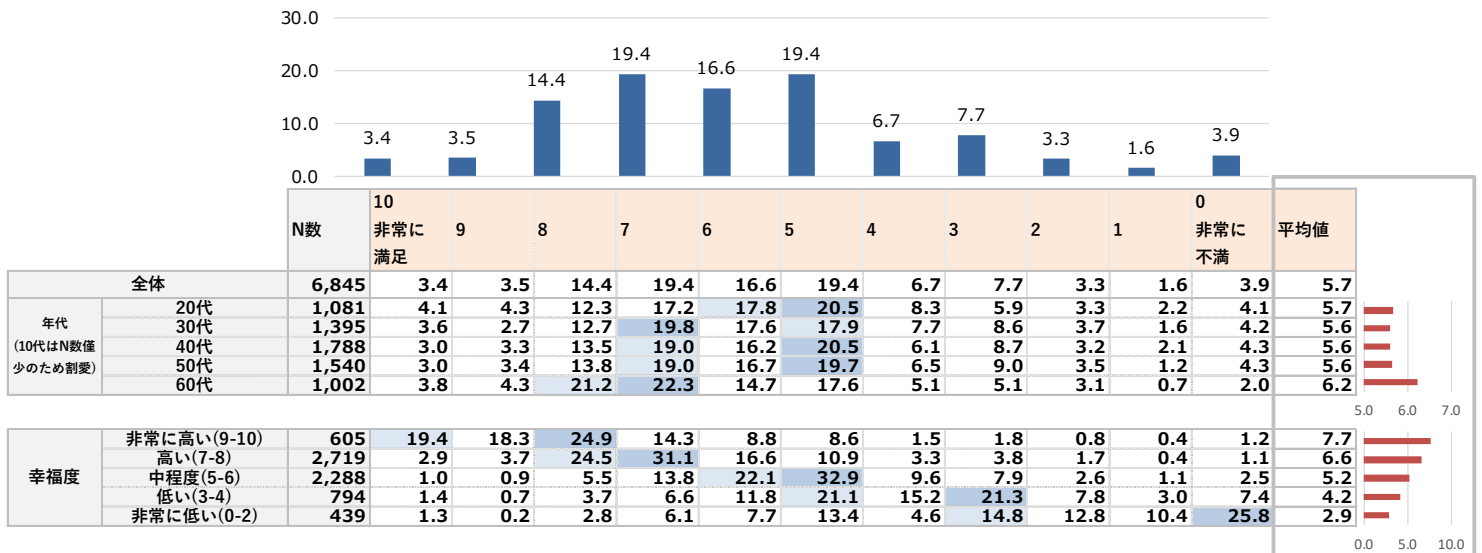


8. 仕事の満足度

仕事の満足度を10点満点で評価した場合、平均は5.7点。
年代別でみると、60代が他の年代に比べて高いが、20～50代はほとんど変わらない。
また、仕事の満足度は日常における幸福度と相関関係にある。

あなたは仕事についてのどの程度満足していますか。「非常に満足」を10点、「非常に不満」を0点として、あなたは何点ぐらいになると思いますか。
あてはまるものをお知らせください。(ひとつだけ)

(単位：%) ※平均値は点数

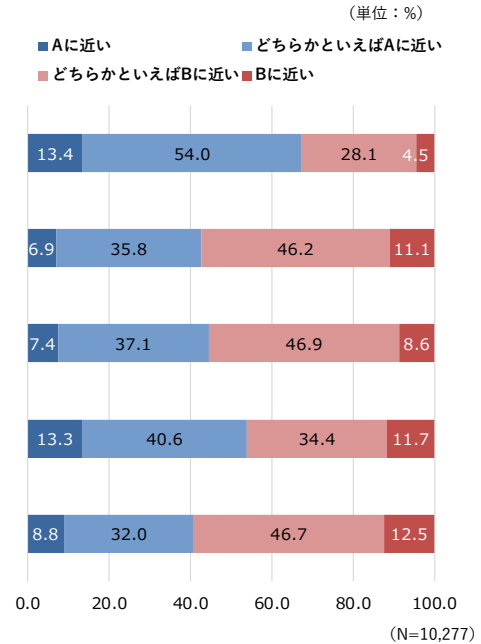


9. 物事の捉え方・考え方

物事の捉え方・考え方について、それぞれ近い方を選んでもらうと、「楽観志向」と「悲観志向」や、「技術重視」と「人重視」、「仲間重視」と「ひとり重視」で、それぞれ二分する結果となった。

あなたにあてはまる考えは【A】【B】のどちらですか。(それぞれひとつずつ)

自己決定志向 他者決定志向	【A】 自分の人生は自分で選択し、コントロールできるものだと思う 【B】 自分の人生で何が起るかは、外部の力によって決まっていると思う
楽観志向 悲観志向	【A】 これから世の中は良くなっていくと思う 【B】 これから世の中は悪くなっていくと思う
技術重視 人重視	【A】 技術の力を重視する 【B】 人間の力を重視する
仲間重視 ひとり重視	【A】 人と一緒にいる幸せを重視するほうだ 【B】 ひとりでいる幸せを重視するほうだ
挑戦志向 安定志向	【A】 新しいことへの挑戦や変化を楽しむ方である 【B】 定型化した処理やパターンがあると安心する方である



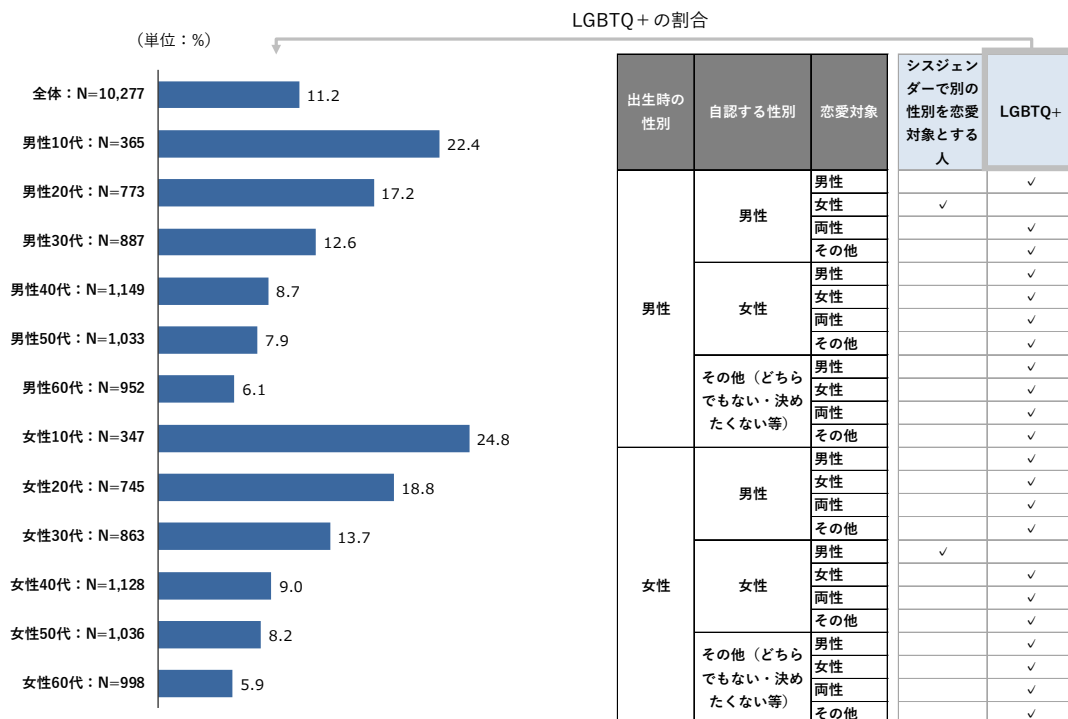
10. LGBTQ+

LGBTQ+の人は、全体で1割を超える。中でも、10代と20代は約2割。

あなたの出生届に記載された性別は次のうちどれですか。(ひとつだけ)

あなたの自認する性別は次のうちどれですか。(ひとつだけ)

あなたの恋愛対象となる相手の性別は次のうちどれですか。(ひとつだけ)



※左表の性別は他の設問同様、事前調査(スクリーニング調査)での性別回答を採用

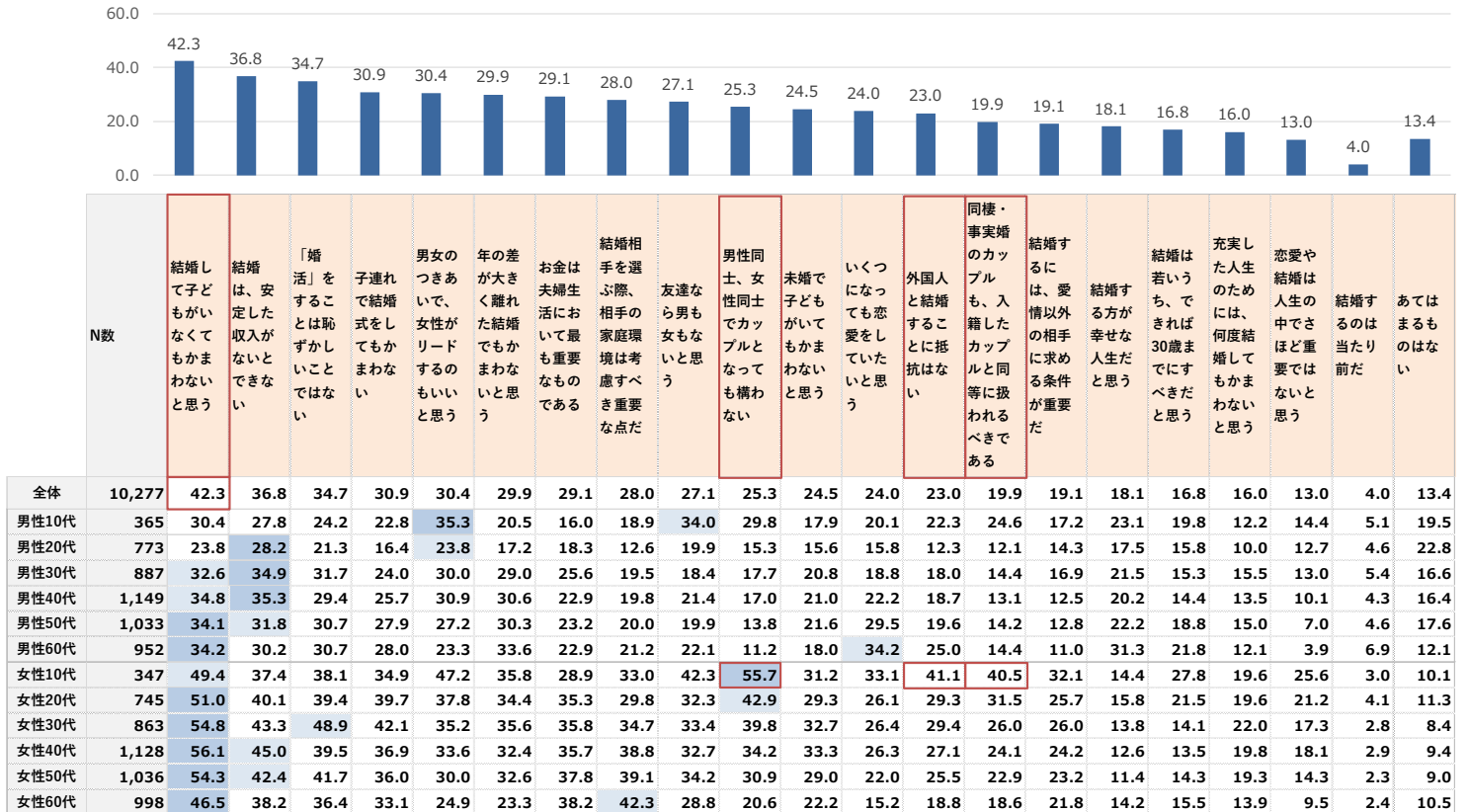
11. 出会い・恋愛・結婚に関する考え方

最も高かったのは「結婚して子どもがいなくてもかまわないと思う」だった。

また、「同棲・事実婚」「同性カップル」「外国人との結婚」など多様なパートナーを認める回答をした割合は、特に女性10代で高い。

以下には、出会い・恋愛・結婚に関する考え方をあげてあります。
それぞれについてあなたご自身の考え方に近いと思われるものを選んでください。
なお、あなたに該当しないことでもその立場に立ってお答えください。(いくつでも)

(単位：%)



12. 親子・夫婦・家族に関する考え方

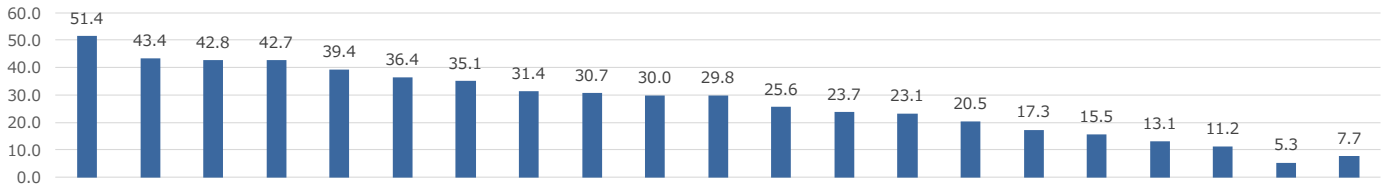
「家事は夫婦で協力して行うべきである」が最も高く、半数以上が選んだ。

以下には、親子・夫婦・家族に関する考え方をあげてあります。

それぞれについてあなたご自身の考えにあてはまるものをすべてお知らせください。

なお、あなたに該当しないことでもその立場に立ってお答えください。(いくつでも)

(単位：%)



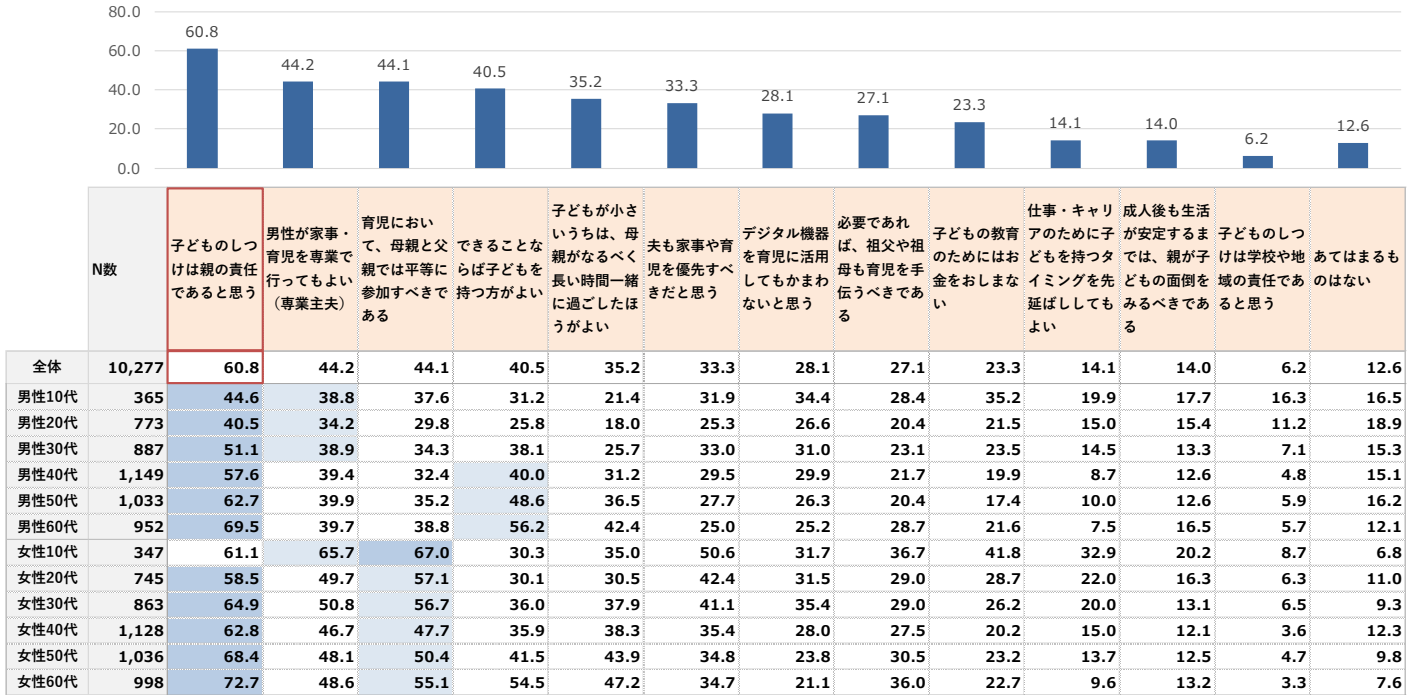
N数	考え方																					
	家事は夫婦で協力して行うべきである	食事は極力、家族で一緒にとるべきである	たとえ寝たきりになっても子どもに負担をかけたくない	夫婦がうまくやってくたは、お互いの自由時間の使い方を干渉すべきではない	葬儀や墓、遺言や遺産相続などの身辺整理は、元気なうちに自分で準備しておきたい	ペットは家族の一員である	親は精神的に頼りになる存在である	夫婦が別の姓を名づけてもかわないと思う	友人のような夫婦関係がよいと思う	親が離婚するのは親の自由である	自分に資産があれば、できるだけ多くの金額を家族に残してあげたい	友人のような親子関係がよいと思う	家族以外の人に介護してもらうことに、抵抗はない	夫婦はお互いに経済的に自立した方が望ましい	家族関係がわづらわしいと思うことがある	親・兄弟姉妹・成人した子どもなど、親族と近くに住みたいと思う	子どもが小さいうちには、どんなことがあっても離婚すべきではない	子どもは親の介護・老後の面倒をみるべきである	家庭生活は子ども中心ではなく、夫婦中心の方がよいと思う	自分たちが年をとったら、子どもと同居したいと思う	あてはまるものはない	
全体	10,277	51.4	43.4	42.8	42.7	39.4	36.4	35.1	31.4	30.7	30.0	29.8	25.6	23.7	23.1	20.5	17.3	15.5	13.1	11.2	5.3	7.7
男性10代	365	38.9	31.6	25.9	29.5	23.4	38.2	31.3	29.1	27.7	25.2	21.7	24.8	14.0	13.2	14.0	11.7	19.5	13.4	6.0	8.1	14.4
男性20代	773	33.4	24.8	22.9	23.8	15.1	26.1	25.8	23.3	20.6	21.2	20.5	16.3	11.1	15.9	14.2	10.6	15.4	11.2	7.5	6.9	17.1
男性30代	887	42.8	33.5	34.6	31.1	25.1	27.9	28.6	24.0	20.4	26.7	27.9	17.9	17.0	22.5	16.4	11.1	18.7	11.0	7.9	5.6	12.4
男性40代	1,149	42.3	37.7	34.3	33.5	26.3	26.9	28.0	22.7	22.4	27.8	26.2	17.2	16.9	18.3	16.7	9.3	17.5	14.3	6.7	5.1	11.3
男性50代	1,033	46.1	42.7	39.1	40.0	36.9	30.7	26.1	24.5	26.0	27.6	31.5	18.7	21.1	16.9	16.9	11.3	18.0	16.9	11.8	4.8	10.7
男性60代	952	48.1	53.0	50.2	47.8	46.4	27.5	29.3	28.8	28.3	21.5	34.8	19.2	28.8	19.6	13.2	16.4	23.1	16.2	19.4	7.2	5.8
女性10代	347	63.1	45.2	37.8	46.0	37.3	60.3	50.1	41.0	38.2	35.0	30.0	45.6	19.9	30.2	28.0	15.9	16.6	15.8	6.0	6.3	6.0
女性20代	745	61.6	44.3	42.6	41.3	40.0	48.8	44.8	40.6	42.4	39.7	31.2	43.9	22.8	30.1	23.0	19.0	12.6	15.0	7.4	3.6	5.9
女性30代	863	64.6	49.3	49.1	49.2	44.6	42.0	44.5	39.1	41.6	40.3	36.0	36.8	28.5	25.7	26.8	24.7	11.5	12.6	7.8	3.2	4.5
女性40代	1,128	57.0	49.7	45.9	48.7	47.5	44.9	45.0	39.0	34.5	36.9	29.3	28.2	28.0	25.2	28.1	23.8	11.3	13.4	11.7	4.3	3.3
女性50代	1,036	58.1	45.5	54.3	53.5	54.3	42.0	36.3	36.1	37.5	34.5	31.5	30.4	29.1	27.3	28.4	21.9	9.9	10.5	13.4	5.4	3.3
女性60代	998	60.6	53.5	59.0	57.6	58.9	38.3	39.2	34.8	33.2	23.7	31.8	24.9	36.3	31.7	19.8	27.5	14.9	8.9	20.5	5.4	2.4

13. 子育てに関する考え方

「子どものしつけは親の責任であると思う」が最も高く、6割に達した。

以下には、子育てに関する考え方をあげてあります。
 それぞれについてあなたご自身の考え方に近いと思われるものを選んでください。
 なお、あなたに該当しないことでもその立場に立ってお答えください。(いくつでも)

(単位：%)

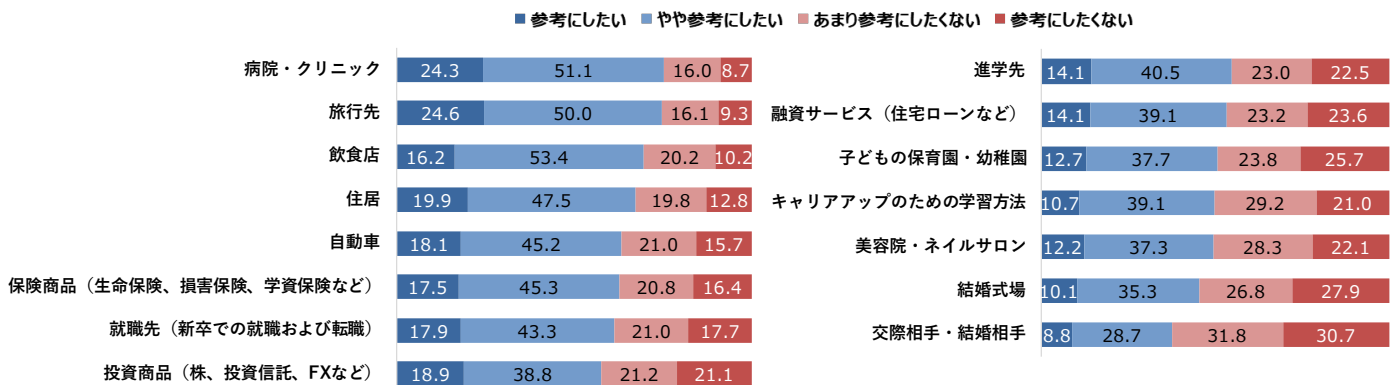


14. 「おすすめ機能」の参照意向

さまざまなデータをもとにした「おすすめ機能」について、「参考にしたい」「やや参考にしたい」と回答した割合は、「病院・クリニック」「旅行先」が約75%であるが、「交際相手・結婚相手」や「結婚式場」、「美容院・ネイルサロン」などは50%を切っている。

あなたは以下の項目を選ぶときに、さまざまなデータをもとにしたおすすめ機能を参考にしたいと思いますか。(それぞれひとつずつ)

(単位：%)



(N=10,277)